1 今年度の取組目標等に関する自己評価

(1) 教育活動への取組と自己評価

【学習指導】

- ・ 適正な年間指導計画の作成及び授業時数を確保しながら、計画的な学習指導に取り組んできた。
- ・ 始業・終業時間の厳守、授業規律の保持・徹底、授業内容等の工夫により、生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図ってきた。
- ・ 教員相互授業見学の実施については、前年度よりも強化期間を多く設定し、呼称も教員相互授業見学週間から月間に変更して取り組んだ。教員が互いに授業見学し合ったり、他校の授業見学をしたりすること等を通して授業改善に努めた。
- ・ ICT機器を活用した授業実践を推進した。オンライン学習デー実施に向けては教務部主導でICT支援員の協力を得ながら校内研修を企画実施した。
- ・ 各種検定の積極的な受検を促し、必要な学習面の支援に取り組むことができた。生徒の学習への動機付けになるとともに希望進路の実現に生かされた。

【生活指導】

- ・ いじめ対策防止基本方針に基づき、いじめの実態把握調査を計画的に実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に取り組むことで重大事態を発生させることはなかった。
- ・ 教科・科目等の授業、ホームルーム活動や学年集会を通してきめ細かな生活指導を実践し、生徒の帰属意識を醸成するとともに学校生活を送る上で必要なルールを遵守することの必要性を理解させることができた。
- ・ 教育相談委員会の定例的な開催を定着させたことで一層教育相談体制の強化を図ることができた。日々行う生徒情報の組織内共有に加え、スクールカウンセラーやユースソーシャルワーカー、外部関係機関等との連携は一層円滑なものとなった。
- ・ 今年度は生徒の問題行動等未然防止と校内の安全管理に緊張感をもって取り組むことができた。

【進路指導】

- ・ 生徒の進路実現に対する内発的動機付けを高めさせ、具体的な進路活動に取り組みさせるよう「進路指導推進週間」を設定し、生徒の進路意識を高めることができた。
- ・ ホームルーム活動や総合的な探究の時間等を通して、道徳教育及びキャリア教育の充実を図ることができた。
- ・ 「令和6年度都立学校における不登校・中途退学対策（都立学校「自立支援チーム」派遣事業）実施要綱」を踏まえ、自立支援チームや外部関係機関と連携した不登校・中途退学対策を組織的に行うことができた。
- ・ 継続派遣校として、ユースソーシャルワーカーの支援・助言を受けながら、支援を要する生徒等に向け、就労、福祉、医療等の各種関係機関と連携を図り、進路決定に導くための組織的・継続的な指導に取り組んだ。
- ・ 転学・退学については、継続派遣校のメリットを生かしつつ、進路指導部中心に全教員で進級・卒業・進路実現に向け丁寧な生徒対応・保護者対応を進めたことでやむを得ない案件のみにすることができた。

【特別活動・部活動】

- ・ 生徒の自治的な活動を支援しながら各種学校行事の充実を図り、成功体験を積ませることで学校への帰属意識を高めさせることができた。
- ・ 生徒の自発的・自治的な活動を促し、支援や指導体制を工夫することにより生徒会活動を活性化させることができた。

【健康・安全】

- ・ 定期健康診断の受診を促進し、自らの健康・安全に対する意識を高めさせることができた。
- ・ 外部関係機関等を活用した保健講話やセーフティ教室の実施を通して、生徒に心と体の健康及びその

保持増進について考えさせる機会を設けることができた。

- ・ 避難訓練を通じた災害に対する体験的・実践的な指導により防災意識を高めさせることができた。

【募集・広報活動】

- ・ 個別相談対応の充実を図った。第一次募集の最終応募倍率を0.32倍（普通科0.37倍、商業科0.27倍）とすることができた。
- ・ 区内中学校の学校訪問を受け入れ、定時制課程の特長について理解を深めていただくことができた。
- ・ 学校ホームページを介した学校の情報発信については、過去2か年の更新の在り方を反省し、計画を改めたことによって円滑に更新を進め、件数を増加させることができた。

【学校経営・組織体制】

- ・ 企画調整会議を中心とした組織的学校経営を推進してきた。管理運営規程に基づく学校運営の徹底を通して、組織的な業務遂行と諸課題の解決に取り組んだ。
- ・ 各種会議の定刻開始と予定時間内終了を徹底し、職員の計画的な職務遂行の実現に努め、ライフ・ワーク・バランスの実現に取り組んできた。今年度も要指導面接対象者を出さなかったことが成果である。
- ・ 経営企画室の学校経営参画機能の充実に努めてきた。次年度も引き続き、行政系職員と教員との相互連携をより一層深め、組織的に諸課題への対応が可能となる体制を整えていく。
- ・ 悉皆とされる研修以外にも、自主的に服務事故防止研修を実施し、体罰の根絶はもとより服務事故全般の未然防止を図ってきた。

(2) 今年度の「数値目標」の実績

数値目標		実績
学習指導に対する生徒の肯定的評価	90%以上	91%
進路指導に対する生徒の肯定的評価	90%以上	93%
特別活動・部活動に対する生徒の肯定的評価	90%以上	75%
入学したことへの生徒の肯定的評価	90%以上	93%
授業力向上に資する校内研修等の実施	10回以上	12回
教育相談委員会（ユースソーシャルワーカーとの連携含む）の開催	10回以上	11回
進路未決定者（進学準備等を除く）	20%以下	0%
中途退学件数	20件以下	20件
東京都教育委員会の方針を踏まえ自転車通学時のヘルメット着用の促進に資する指導等の実施	毎月実施	毎月実施
学校ホームページ等による各種情報発信	110件以上	121回

2 次年度以降の課題と解決に向けた方策

(1) 学習指導

課題 ・ 生徒の学習歴を踏まえつつ、履修内容の理解を深めさせる授業実践

- ・ 「わかる・できる」を味わわせる学習指導の充実

方策 ・ 授業力向上のための授業研究、校内研修や教員相互授業見学等を継続

- ・ アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業実践、一人1台端末の利活用促進
- ・ 生徒による授業評価アンケートの内容・方法等の改善
- ・ 課題に取り組んだり、補習や講習に参加したりすることの意義や必要性を理解させる指導を推進
- ・ 学校全体できめ細かな学習指導に取り組み、進級・卒業を諦めさせない指導を推進する。

(2) 生活指導

- 課題** ・自己指導能力を身に付け高めさせる指導の工夫
・規範意識の醸成、進級・卒業を諦めさせない指導
- 方策** ・生命及び人権尊重の理念に基づく生活指導の徹底
・社会や学校において他者と集団生活を送る上で必要なルール、マナー、モラルを身に付けさせ、確かな自己指導能力を醸成
・学校全体で丁寧な生活指導に取り組み、進級・卒業を諦めさせない指導を充実させる。

(3) 進路指導

- 課題** ・進路指導部主導による4か年を見越した指導計画に基づく指導の推進
・進級・卒業、進路実現を諦めさせない指導の工夫
- 方策** ・キャリア教育を核とした進路指導計画と指導実践
・「丁寧な個人面談、三者面談」等の実施
・関係諸機関と連携した進路指導の推進

(4) 特別活動・部活動

- 課題** ・集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度の育成
・規律ある行動実践に努めようとする能力や態度の育成
- 方策** ・生徒が特別活動や部活動等に主体的に取り組み、達成感や自己有用感を味わわせる指導の工夫を図る。
・部活動は、文化系・運動系を問わず東京都が示すガイドライン等に基づき実施する。

(5) 健康・安全

- 課題** ・交通安全教育、防災教育、問題行動等未然防止、不登校・中途退学防止に資する指導の充実
- 方策** ・警察等関係諸機関と連携した交通安全教室、防災教育等の実施
・教育相談委員会の定例実施
・SCやYSWとの協働体制を維持し、生徒の特性や環境等に起因する諸課題の解決に当たる。

(6) 募集・広報活動

- 課題** ・普通科・商業科併置である定時制課程の特長を主に区内中学校に向けて広報していく。
- 方策** ・学校説明会等企画の工夫改善
・学校案内、学校ホームページによる情報発信
・近隣中学校等との交流継続

(7) 学校経営・組織体制

- 課題** ・学校経営計画の具現化
・教職員のライフ・ワーク・バランスの推進
・所掌事務の適正かつ効率的な遂行
- 方策** ・企画調整会議を中心とした学校経営の推進
・若手教員育成の強化
・ライフ・ワーク・バランスの推進に向けた各種取組の実践
・校務遂行の効率化を目指し、引継書等作成・保存の徹底